

近づく危険を未然に警告！

衝突警報装置『XLAS-303』

ワータックス



方衝突警報、歩行者衝突警報、標識認識などの機能を備えているので、近づく危険を未然に警告することが出来る。

車線逸脱警報は、設定速度が20km/h～60km/hで機能。車線を越えた時に警告する(感度：5段階)

前方衝突警報は、設定速度が20km/h～60km/hで機能。前方の車両やバイクをカメラでとらえて衝突の0.1～2.5秒前から警告する。走行速度から衝突するまでの時間を計算し、モニターへ秒数を表示する。

低速時前方衝突警報は、速度が1～30km/h

で機能。交差点や渋滞時に前方の車両やバイクに(1～2m)近づいたときに警告する。

歩行者衝突警報は、速度1～50km/hで機能。前方の歩行者や自転車をカメラでとらえて衝突の2秒前に警告する。

標識認識は、速度の標識と進入禁止の標識を認識してモニターへ標識を表示。速度違反や進入禁止違反をした場合に音声で警告する。

その他、ドライブレコーダー「XDR-66シリーズ」も話題を呼んでいる。
<http://www.watex-net.com>



検出イメージ(車線逸脱)



検出イメージ(前方車両)

衝突警報装置使用例

前方衝突警報



車線逸脱警報



標識認識



ワータックス(群馬県太田市強戸町一六二番地一三、八〇二七六―五五―三七八)は、一月十三日～十五日まで東京ビッグサイトで開催された「オートモティブワールド」(コネクティッド・カーEXPO)に、衝突警報装置「XLAS-101」などを出展。そして今年バージョンアップした「前方衝突警報、低速時前